

# 人権コラム 心、豊かに

## ◆ 広がれ「イクボス宣言」→「イクドリ！宣言」

「九州地方知事会と経済界は男性の育児休業取得を推進しています！」

九州・山口の9県と経済界で組織する「九州地域戦略会議」は、男性の育児休業の取得がごく自然なこととなり、安心して子育てができることを目指すため、企業（事業所）を対象とした認証制度を創設しました。

制度の名称は「イクドリ！宣言」。文字通り、「育児休業を取ります（それを応援します）！宣言」の略称で、男性社員の2週間以上の育児休業の「取得率100%達成」を目標とする企業に認証マークを配布するものです。

大分県子ども未来課によると、男性の育休取得を推進する企業の姿勢は、若い世代が就職先を選ぶひとつのポイントとなっているようです。このため、子育てを家庭に押し付け、働くことだけを重視する風潮はプラスにならないと判断する企業は確実に増えているようです。

社員や部下の育児・介護に理解を示しつつ、自分自身も仕事に励み、かつ私生活を楽しむ経営者や上司の存在の必要性を本コラムで紹介（タイトル：広がれ「イクボス宣言」）した平成29年度の男性の育休取得率は5.14%。それが令和6年度には、過去最高の40.5%にまで上昇しています。この取得率の「伸び」をさらに加速させるには、前出の認証制度に応える企業や新たなイクボスの出現が大きなカギを握っています。

【企業が背中を押すことが、社会を変える力になる。男性の育休を後押しすることは、その家庭を支え、人材を守り、企業の未来を拓くこと。社会を変える企業でありたい】イクドリ！宣言を広めるリーフレットには、こう書かれています。

子育てを全面的に応援する職場は、働くモチベーションを向上させるとともに、企業に対する信頼感や安心感を与える要因にもなっています。時代の流れに沿った意識の上乗せは、家庭と企業と社会全体のバランスが保たれた未来を拓く基盤となるでしょう。